



令和2年度の診療科案内が完成しました。

令和2年度の診療科案内が完成しました。院内配架の他、関係機関の皆様には郵送させて頂いています。以下のQRコードを読み込んで頂きましたら、閲覧も可能です。



老健やましろより

～あじさいを見に行きました～



6月22日（月）～24日（水）の3日間、4階フロアの入所者様と恭仁京跡にあじさいを見に行きました。3日間とも天候に恵まれ、梅雨とは思えないほどの日差しが降りそそいでいました。新型コロナウイルス感染予防のため、入所者様・職員ともにマスクを着用し、車の窓を全開にして出かけました。到着すると青やピンク、紫など様々な色のあじさいが咲き誇っており、ご覧になられた皆さんは「いろいろな種類のあじさいがあつてきれい。」「こんな素敵なおところに連れてきてもらって幸せ！」「お父さんともこの景色を見たいわ。」と久しぶりの外出をととても喜んでおられました。

あじさいの花言葉は、「和気あいあい・団らん」とされています。あじさいの花言葉のように施設の中での生活がほっと安心できる「団らんの場」となるよう、今後も様々な企画や行事を考えていきたいと思ひます。

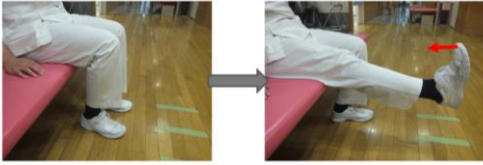
（老健やましろ 支援相談員 南山 亜紀）

フレイルを予防しよう

～ 乞うご期待 ～

ひざをしっかり伸ばしましょう

効果：立ち上がりや階段を上る時などに使う筋肉を鍛えることができます



●片足ずつ①ひざを伸ばす→②足首を反らす→
③太ももにギュッと力を入れる→④足首を反らしたまま足を下ろします

今年度、「地域包括ケアチーム」では、介護予防に関する内容を院内のモニターに掲示しようと活動しています。7月からの約3ヶ月間は、「フレイルを予防しよう」というタイトルで、現在リハビリ科の若手セラピストがスライドを作成してくれています（間もなく完成予定です）。完成しましたら、院内のモニターへの掲示の他、スライドを要約したものを紙でお配りしたり、ホームページに掲載することも検討しています。

コロナウイルス感染拡大防止のため、外出を控えておられるご高齢の方々も多いと思います。ご自宅でできる体操も紹介していますので、皆様のご家族や関わりのある方々にもお伝え頂ければ幸いです。完成しましたら、改めてお知らせします。（南出）

地域医療連携室より

～ ホスピタリティ ～

院内のあらゆる所には「ふれあい箱」を設置しており、患者さんからご意見・ご要望を頂戴しています。時には、職員の対応について厳しいご意見を頂戴することもあり、都度、ふれあい箱対応委員会では頂戴したご意見の内容を情報共有し、必要に応じて、院内の関係部署と連携を取り、改善策を検討しています。

先日、患者さんが「ふれあい箱」に投書された内容が院内の回覧で回ってきましたので、目を通しました。その内容は、患者さんご自身が当院を受診された時の感謝の気持ちが長文にわたり記されていて、中村副部長と「励みになるなあ」と話をしていました。

実はその日の夕方、業務中に急に下腹部が痛くなり、しばらく我慢していたのですが、冷や汗も出てきて寒気もしてきたので我慢できず、申し訳ないと思いながら、当院の救急外来を受診しました。救急室のベッドで横になり、検査（採血、心電図、腹部CT）と点滴をしてもらい、しばらくして体調は回復したのですが、その日は次から次へと患者さんが受診されていて、忙しい中でも丁寧に患者さんの対応をしている医師や看護師、検査技師の声が聞こえてきて、同じ日の昼間に読んだ患者さんの投書の内容を思い出し、救急室のベッドで横になりながら、しんどかったのですが、とても嬉しく思いました。

*

昨年より始業時の朝8時30分、正面受付にて事務職員による“立礼”を始めたり、他医療機関を視察した上で当院で取り組みそうな内容について検討したりと、ホスピタリティの向上に力を入れているところです。ホスピタリティとは、心のこもったおもてなしとか、相手に対してこうしたら喜ばれるんじゃないか、と考えて行動することです。引き続き、診療所の先生方をはじめとする関係機関の皆さんや患者さんに選んで頂けるよう、ホスピタリティの向上に力を入れていきたいと考えています。（地域医療連携室 室長 南出 弦）